

つながっぺ！  
おおくま

# なごみ

Vol. 271

令和7年

1月15日発行

発行：社会福祉法人  
大熊町社会福祉協議会

〒979-1306

双葉郡大熊町大字大川原字南平 1920 番 1

電話 0240-23-5171 FAX 同 5173

E-mail:ookumashakyo@saturn.plala.or.jp

ホームページ: <http://okuma-shakyo.or.jp/>



## 天保そばを楽しむ 交流会



令和6年11月26日(火)天保そば保存会の皆さんからご招待いただき、鈴木製粉所「石臼館」(山形県)において、今回で11回目となる交流会を行いました。初めて参加される方も多く、幻の天保そばをいただきながら、蕎麦の実の発芽から現在までの活動紹介を聞き大変貴重な時間を楽しく過ごすことができました。参加者からは「時を超えた天保そばはとても美味しかった。今後も継続して交流していきたい」などの声が聞かれました。

## もくじ

- |                     |      |                        |      |
|---------------------|------|------------------------|------|
| ・天保そばを楽しむ交流会        | ・・表紙 | ・連携強化を目指して             | ・・P3 |
| ・令和7年 新年の挨拶         | ・・P2 | ・こんにちは！生活支援コーディネーターです！ | ・・P3 |
| ・学び舎ゆめの森生徒との地域交流    | ・・P2 | ・今年はふくしまグルメとおきなわグルメ交流！ | ・・P4 |
| ・社協連携避難者支援センター郡山の活動 | ・・P3 | ・サロンのお知らせ              | ・・P4 |

この広報は赤い羽根共同募金から寄せられた配分金により発行しております



会長 吉田 淳

## 令和7年 新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

私たち社会福祉協議会は、昨年9月に法人設立50周年を迎えることができました。これもひとえに町民の皆様や関係機関のご理解とご支援の賜物であり、心から感謝申し上げます。

社会福祉協議会という団体は、地域住民の皆様を始め、関係する機関・団体と連携協働し福祉の推進を図っていくことが使命とされております。これは社協が一方的なサービス提供に終わるのではなく、町民の皆様を主体とし、地域にある様々な支援機関・団体と共に福祉の向上に取り組んでいくことを意味しております。皆様方にはこれまで以上のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

昨年12月には町の玄関口であるJR常磐線大野駅の周辺(駅西地区)に賑わいを取り戻すべく整備を進めておりました、産業交流施設「CREVA おおくま」と駅西商業施設「クマSUNテラス」が竣工を迎え、3月のグランドオープンに向けて準備を進めているところです。両施設の開業が帰還や移住を検討している方の大きな後押しになることを期待しております。

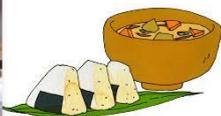
町復興が一步ずつ進み、町内人口が増加することに伴い、これまで以上に福祉面のさらなる充実強化が求められてまいります。誰もが地域の中で自分らしい生活を送ることができるように、皆様から幅広く声を聴き、必要とされる支援に取り組んでいきたいと考えております。

最後に、町民の皆様、関係機関(団体)の方々がお心身ともに健康であり、益々ご活躍される年であることをお祈りし、年頭の挨拶といたします。

## 学び舎ゆめの森生徒との地域交流

10月18日(金) 学び舎ゆめの森主催にて、子どもたちと教職員、地域の内外の方が力を合わせ豚汁と、農業委員会が栽培(収穫)したお米を使用した塩むすびを作りました。子どもたちの元気な「いただきます」の声で始まった会食交流会では、熱々の豚汁と新米の塩むすびを頬張る皆の笑顔がたくさん見られました。

おいしい新米  
いただきます!!



町内義務教育施設学び舎ゆめの森の生徒、児童と地域住民の交流として、季節に応じたさまざまなイベントが開催されております。

今回は、秋に開催されたイベントの紹介です。

## TRICK OR TREAT



10月25日(金) 住民福祉センターに、今年もかわいらしいお化けたちが遊びにきました。

昨年よりもお化けたちの数が増えたとのうわさを聞き、本会もたくさんのお菓子をを用意し待機!!

「お菓子をくれなきゃいたずらするぞ!!」と、それぞれ工夫を凝らした衣装で登場してくれました。

本会では地域支援交流事業として今後も地域と様々な人とをつなぐ取り組みを行っていきます。

## 社協連携避難者支援センター郡山の活動

12月10日（火）復興公営住宅東原団地集会所で社協連携避難者支援センター郡山主催のサロン「みんなまざんねかい」が開催され、12名の方（内大熊町民4名）が参加しました。



ボールを上手く運べるかな



健康体操でウォーミングアップ

支援センター郡山では、避難先・避難元の住民がだれでも参加できる地域交流を目的に活動しています。

サロンには、団地住民の皆さんだけでなく、地元の民生委員さんや地域包括支援センターの保健師さんが参加され、健康体操やミニゲームを一緒に楽しみました。

## 連携強化を目指して ～民生児童委員と生活支援相談員との同行訪問～

10月から12月にかけて、県内各地区で生活支援相談員と民生児童委員との同行訪問が行われました。日々変化していく状況と、皆様からの様々な相談ごとに対応できるよう、切磋琢磨し連携強化が図れるよう取り組んでいきたいと考えております。



生活支援相談員と民生児童委員は連携した活動を行っております。日々の訪問活動をとおり、皆様の生活上の心配ごと・困りごとなどを伺い、相談内容に応じて、必要な支援が受けられるよう専門機関へつなぎます。また、生活支援相談員、民生児童委員は共に、守秘義務を基に活動しており、相談内容を他の人に漏らすことはありません。安心してご相談ください。

### 【連絡先】

大熊町民生児童委員協議会（事務局：本部）

TEL 0240-23-5171 FAX 同5173

## こんにちは！生活支援コーディネーターです！

大熊町内で挙がる「地域をもっとよくしたい」「みんなで協力をして事業をやってみたい」を形にするため、関係機関との協議の場である「くまの手ねっと情報交換会」を定期的開催しております。町内で生活をする皆さんの生の声がよりよい大熊町をつくる資源ともなりますので、ご意見、要望、提案などありましたら、ぜひ本部へご連絡ください！

令和7年2月21日（金）には、“町内でよりよい生活を送るために”をテーマに、講演会の開催を予定しております！



毎度、白熱した協議が繰り広げられています！



## 今年はふくしまグルメとおきなわグルメ交流！

### 北中城村の皆さんとの交流・第8回「ひまわり交流 in 北中城」のお知らせ

○日 程：令和7年3月5日（水）～7日（金）の2泊3日

○内 容：交流会、摩文仁ヶ丘でのひまわり見学、視察研修（沖縄県平和記念資料館など）

○定 員：25名

○参加費：大人1名様122,000円

（2名1室利用時、詳細は以下の申込先までお問合せください）

○申込み：①名鉄観光サービス（株）福島支社 024-521-1341（担当：渡辺）

②大熊町ひまわりプロジェクト 070-2022-2416（担当：渡部）

※社協では受け付けできませんので、参加希望の場合は上記にお申込みください。

※お申込み後、①より案内書類が送付されます。

【主催】大熊町ひまわりプロジェクト／【後援】大熊町、大熊町農業委員会、社会福祉法人大熊町社会福祉協議会

※ 募集期間 ※（土日祝除く）

令和7年1月31日(金)まで

## 『サロン』のお知らせ

おおくまDEサロン

<申込先>本部 TEL：0240-23-5171

開催場所	大熊町住民福祉センター 会議室 大熊町大字大川原字南平1920-1
開催日・内容	2月 6日（木）介護・認知症予防講座（物作り等） 2月10日（月）介護予防体操
時 間	10時から11時30分
定員・参加費	各回15名程度・100円
申込期日	1月15日（月）～各開催日の2日まで



## 大熊町社会福祉協議会 連絡先

コールセンター：0120-29-5760



### ◆本部

住 所：〒979-1306

双葉郡大熊町大字大川原

字南平1920番1

電 話：0240-23-5171

FAX：0240-23-5173

### ◇中通り連絡所

住 所：〒963-8035

郡山市希望ヶ丘11-10

電 話：024-954-5733

FAX：024-954-5734



### ◇いわき連絡所

住 所：〒970-1151

いわき市好間町下好間字鬼越18

電 話：0246-38-8920・

0246-38-8939

FAX：0246-38-8921

### ◇中通り連絡所会津事業所

住 所：〒965-0059

会津若松市インター西111

電 話：0242-24-1021

FAX：0242-24-1022

編集後記：新年あけましておめでとうございます。皆さんは、年末年始どのようにお過ごしになりましたか。今年の干支は、乙巳（きのとみ）です。60年周期の干支の中で42番目に位置し「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。また、蛇のイメージから「再生と変化」を意味するとも言われています。何事にも努力を重ね、再生と変化の先に進化を目指し、さまざまなことに挑戦する1年にしたいと思います。（本部/愛川）